

様式

浦和特別支援学校の活性化・特色化方針
(平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小・中・高等部	児童生徒数	(男)162 (女)79	計 241
ホームページ	http://www.urawa-sh.spec.ed.jp					
アクセス	JR 浦和駅よりバス 浦和特別支援学校前 下車徒歩 3分					
教育課程等の特徴	<p>小学部</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活面では、生活に必要な基礎的力を付けます。着替え等を意識して教員と一緒に取り組む段階から、一人で着替えて丁寧にたたみ、ロッカーに片付ける段階までを、順を追って学習します。 学習面では、教員や友だちとの関わりの中でコミュニケーションの力を伸ばすことも大きなねらいとしています。 自立活動は、興味を持って楽しみながら取り組めるような活動を中心に設定し、一人一人のニーズに応じた指導を行っています。 <p>中学部</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学部で学んだ基礎的な力を生活に応用し、社会参加に必要な知識・技能を、国語・数学・美術や生活単元学習などで学び、家庭での生活の充実や、行事の積極的な参加につなげます。 朝の運動や体育、自立活動の授業では、実態別に分かれた小集団学習活動を展開しています。朝の運動や体育では、持久力や協調性を身につけ、運動することの楽しさや意欲を高めます。 自立活動では、集団でのルールを理解して行動する力、コミュニケーション、体の調整力や見る力、心理的な安定をねらいに学習に取り組みます。 <p>高等部</p> <ul style="list-style-type: none"> 「生活や労働に主体的に取り組み、仲間とともに、健康で文化的に生きる力をもった青年」を教育目標にしています。 平成28年度より、生徒の実態に合った学習の場を考え、3つの教育課程を編成しています。 進路決定にあたっては、1年生は「知る」、2年生は「考える」、3年生は「決める」と段階を踏んで取り組んでいます。 					
特色ある学校行事や部活動	<p>運動会や文化祭は小学部から高等部まで全校で取り組んでいます。</p> <p>小学部3、4、5年は校内宿泊学習、小6～高3は校外宿泊学習または、修学旅行があります。</p> <p>高等部では部活動を行っています。種目は、サッカー、バスケ、陸上、水泳です。陸上は、平成28年度に県で総合2位になっています。水泳は、12名が記録会に参加し、バスケットボールは県で5位になりました。</p>					
家庭・地域との連携	<p>保護者対象の授業参観のほか、地域の方、関係者向けの一般公開日を年3回設けています。また、就学・入学をお考えの方や、施設・企業の方向けの公開や見学会も行っていきます。</p> <p>学校間交流は、地域の小学校・中学校・高校それぞれと活発に行っています。高等部と地元高校との交流は20年を迎えました。</p> <p>キャリア教育の一環として、地元保育園に高等部作業班製作の木工製品を寄贈している他、近隣施設への出張カフェ、地元企業への名刺納品などにも取り組んでいます。</p>					
進路について	<p>就職は2～3割、福祉施設の利用が7～8割となっています。</p> <p>【企業就労】サービス業(レストラン)、流通業、清掃、製造業(食品加工)、クリーニング等。</p> <p>【福祉的就労】さいたま市、蕨市、川口市の福祉施設を利用。</p> <p>小学部、中学部の児童生徒はそれぞれ、中学部、高等部に進学します。</p>					

(児童生徒数：H29.5.1 現在、進路は H29.3 卒業生の状況)

本校の魅力！

児童生徒の主体的に生きる力を確実に伸ばし、地域社会の中で豊かに暮らし、元気で活気のある学校

先輩から

毎日元気に明るく過ごせる学校です。信頼できる先生が、ときには厳しく、落ち込んだ時には心配したり励ましたりしてくれます。部活動がとても楽しいです。生徒会が、学校を良くするために頑張っています。生徒会はとても賑やかで、団結力があります。

先生から

私たちは、一人一人を大切にする指導の充実のために、保護者、地域や関係機関と連携を密にとり、教職員間のコミュニケーションを図りながら、チーム力を生かした指導を行います。そのために私たちは、専門性を高めるための研修を積極的に行います。

2 育成方針（児童生徒の成長物語）

浦和特別支援学校

小低



のびのびと元気な子
生き生きと活動する子
気持ちや要求を表現できる子



浦和特支のマスコット
ハッピーちゃんと元気君

食育活動

- ・季節感のある給食
- ・「リクエスト献立」
- ・「シェフによる給食」 ほか

小高



自分の気持ちや要求を豊にもてる子
自分で考え行動する子
仲間と遊べる子



運動会

支援籍学習

居住地の小、中学校との支援籍学習（交流及び共同学習）を希望者
に実施しています（H28 16名）

中学部



自分のことは自分でできる生徒
自分の気持ちを伝えられる生徒
友だちと仲良くする生徒
心身ともに健康な生徒
最後までやり遂げることができる生徒



げんき祭り
（文化祭）

センター的機能

さいたま市特別支援ネットワークと連携し、地域の特別支援センター
としてコーディネーター等による巡回、支援を行っています。

高等部



生活や労働に主体的に取り組み
仲間とともに、健康で文化的に
生きる力をもった生徒

保健指導

- ・「すすく教室」肥満防止
- ・歯科衛生士による「ブラッシング指導」
- ・「性教育」助産師による指導 ほか

進路指導

高等部では企業や福祉施設と連携して2、3年生
で現場実習を行っています。
2年生では「自分に合った進路先を考える」
3年生では「卒業後の進路先を決定する」ことをね
らいとし、年2回、1回につき5日間～10日間行
います。